

# 平成22年度事業報告書

## 1 事業概要

高知県から指定管理者制度に基づく指定を受けて、①歴史民俗資料館、②埋蔵文化財センター、③坂本龍馬記念館、④美術館、⑤県民文化ホール、⑥文学館の管理運営を行い、県民サービスの向上や一層の経営の視点に立った運営に努めた。また、埋蔵文化財発掘調査や芸術文化活動の振興に資する多様な事業を実施した。

### (1) 歴史民俗資料館

高知県内の歴史・考古・民俗資料の調査研究・収集保存・展示公開をして、土佐の人々の足跡を現在及び次世代に伝えることにより、県民文化の振興に寄与し、伝統を活かした個性豊かな郷土の発展に貢献することを目的とし活動した。また県内の博物館・資料館の中心的施設としての役割を持ち、地域と連携・協力して地域の文化遺産の保護保全活動と併せて、これらを活用した地域活性化事業にも取り組んだ。

平成22年度はリニューアルオープンの中で、長年の懸案であった当館の歴史分野の中心的研究テーマである「長宗我部氏」の研究成果を展示する「長宗我部展示室」を設置し、県内のみならず県外からも多くの歴史ファンの注目を集め、訪れていただいた。このリニューアル効果と特別展「龍馬伝」の効果により、開館当初の入館者数 62,796 人を越える、70,235 人の入館者数を記録した。

#### 利用状況

展覧会	入館者(人)	料金(千円)	備考
常設展	9,995	1,874	(入館者内訳) ・有料一般 : 34,439人 (49.0%) ・小中高校生 : 9,918人 (14.2%) ・長寿減免者 : 25,878人 (36.8%)
企画展	60,240	26,335	
計	70,235	28,209	

### (2) 埋蔵文化財センター

受託事業として開発等に伴う埋蔵文化財の発掘調査を行うとともに、指定管理事業として県立埋蔵文化財センターの施設管理及び出土文化財保管管理活用業務並びに埋蔵文化財保護推進のための広報普及事業を実施した。

ア 発掘調査受託事業

区 分	調査箇所数	調査延べ面積 (㎡)	備 考
受託発掘調査	21	30,247	本調査・試掘調査整理作業を含む

イ 利用状況

展 示 会	会 期	参加人員 (人)	備 考
企 画 展 1	H22. 4. 20～H22. 6. 25	347	「考古資料からみた高知県の歴史」
巡 回 展	H22. 7. 5～H22. 8. 31	1,558	「第2回続・発掘へんろ」－弥生時代－
企 画 展 2	H22. 9. 28～H22. 11. 27	331	「道路開発であらわれた遺跡展Ⅳ」
特 別 展	H22. 12. 24～H23. 3. 18	383	「土佐の古墳」
	その他の期間の入館者	197	
	年間入館者総数	2,816	

(3) 坂本龍馬記念館

企画展を開催したほか、関連事業として、開館20周年記念事業に向けた3年連続企画の第二弾となる「風になった龍馬」展 V o 1. 2 に関するシンポジウムの開催や高校生洋上セミナー、平井加尾が愛した小川邸での当主等の対談や「龍馬と啄木展」にちなみ岩手県知事と高知県知事が対談する「近江屋対談」等を実施した。

また、館便り「飛騰」の発行や小学生を対象とした出前教育の実施等による教育普及活動を推進するとともに、「現代龍馬学会」総会及び発表会の活動や、龍馬検定システムの継続、更には、「特別講演会・子孫は語る」や「桂浜 田中泯踊る！」の開催などにより、龍馬の顕彰と龍馬思想の普及はもとより、龍馬をより身近に感じてもらうための取り組みを進めた。

利用状況

展 覧 会	入館者 (人)	料金 (千円)	備 考
常設展・企画展	442,423	168,638	(入館者内訳) ・一 般 : 367,181 人 ・小中高生 : 41,630 人 ・乳 幼 児 : 9,985 人 ・減免・招待者 : 23,627 人
計	442,423	168,638	

#### (4) 美術館

常設展（コレクション展）及び企画展の展覧会開催や、子どもを対象とした出前びじゅつ講座、学校移動美術館、美術と美術館に親しんでもらうための講座やワークショップの開催、毎週日曜日のギャラリー・トーク、学芸員によるサタデーレクチャー等による教育普及活動を実施した。また、平成19年度から実施してきたアートプロジェクト「休・廃校活性化プロジェクト」は、いの町上東地区に会場を移し、地域グループの協力を得て地域の活性化のきっかけとなりうる文化資源の再発見と活用に新たな成果をあげた。

美術館ホールでは、18年度から実施している美術館ホール活性化計画に基づき、舞台芸術、音楽、映画などさまざまなジャンルの芸術を展開した。

また、芸術文化創造・発表の場として、県民ギャラリーや美術館ホール等の貸出を行った。

#### ア 利用状況

展 覧 会		入館者（人）	料金（千円）	備 考
主 催	常設展（コレクション展）	7,778	1,207	(主催展の入館者内訳) ・一 般： 16,196人 ・大 学 生： 1,242人 ・小 中 高 生： 4,281人 ・減免・招待者： 12,015人  (ホールの入場者内訳) ・一 般： 3,143人 ・小 中 高 生： 197人 ・減免・招待者： 377人
	企画展	25,956	11,305	
	美術館ホール	3,717	5,460	
	計	37,451	17,972	
貸 館	第64回高知県展	10,426	—	
	第14回スピリットアート展	4,086	—	
	第39回ホルト <sup>®</sup> パー文化展	4,500	—	
	第61回こども県展	4,981	—	
	第31回高知県女流展	4,000	—	
	藤城清治の世界展 光と影のファンタジー	46,111	—	
	テレビ高知開局40周年 インカ帝国のルーツ黄金の都 シカン展	38,343	—	
計	112,447	—		
美術館ホール		47,943	14,190	利用日数：280日
県民ギャラリー等		50,814	11,897	利用日数：293日
会議室・講義室等		—	721	利用日数：84日
写真撮影等		—	195	件 数：51件
合 計		248,655	44,975	

イ ホール事業

1) ホールでの事業	17事業	延入場者	8,252人
┌ 内訳	舞台公演	7事業	延入場者 5,739人
	映画上映	5事業	延入場者 1,079人
	コンサート	4事業	延入場者 1,166人
	その他	1事業	延入場者数 268人
※延入場者数は、関連企画参加者を含む。			
2) ホール以外での事業（共催事業）	2事業	延入場者	3,879人

(5) 県民文化ホール

大規模改修工事により5月以降休館となり、通常の運営は4月のみとなったが、大小ホール及び多目的室を貸出すことにより、音楽、演劇、舞踊等の文化芸術活動を支援するとともに、芸術文化活動の活性化につながる自主文化事業や技術研修を実施した。また、大規模改修工事について、より使い勝手がよいホールとなるよう指定管理者の立場から、助言を行った。特に、舞台設備、舞台音響、舞台照明にかかる改修工事については、安全性の確保と県民文化ホールに求められる水準が保たれるよう技術面での協力を積極的に行った。

ア 利用状況

区 分	オレンジホール・グリーンホール				多目的室	備 考
	オレンジホール	グリーンホール	楽屋他	計		
開館日数(日)	30	30	—	60	30	
利用日数(日)	18	20	—	38	利用回数 79	
入場者数(人)	20,100	4,800	—	24,900		
使用料(千円)	11,453	2,515	2,938	16,906	266	計 17,172

イ 自主事業

1) 自主文化事業	3事業	延入場者	993人
2) ホールネットワーク事業			

(6) 文学館

高知ゆかりの歌人や作家をテーマとした展覧会、夏休み期間中に子どもたちも楽しめる展覧会などを開催し、幅広く文学の世界に親しんでいただく取り組みを行った。

教育普及事業では、文学カレッジや紙芝居ボランティア公演をはじめとして、児童生徒文学作品朗読コンクール、朗読の会、朗読フェスティバルといった朗読関係や文学講師として市民講座、高知文学学校などへの職員の派遣、高知ミュージアムネットワーク主催「幕末ゆめ道場」での講義などを行った。

「永遠のともだちピーター・ラビット®」展で展覧会開催にあたり作者のビアトリクス・ポターの資料館をもつ大東文化大学の協力を得たり、「吉井勇没後50年」展を香美市立吉井勇記念館と共催で開催するなど、文学団体や大学等との連携を行った。

資料の寄贈に関しては、平成17年の寄贈に続き、本年度、宮尾登美子氏から寄贈された資料4,244点をはじめとし、寺田寅彦資料等貴重な資料が寄贈された。

館報「藤並の森」を年間4回発行、ホームページの内容を充実し随時更新を行うことで最新の情報提供ができるように努めた。

利用状況

種別		入館者(人)	料金(円)	備考
主催	常設展	444	83,790	(入館者内訳) ・一般 : 8,864人 ・小中高生 : 3,093人 ・長寿者等 : 4,463人
	企画展	15,976	3,792,279	
	計	16,420	3,876,069	
ホール		8,528	606,320	利用日数: 233(162)日
茶室		3,194	277,220	利用日数: 76(10)日
企画展示室		11,626	6,475,040	利用日数: 285日
合計		39,768	11,234,649	

※備考( )内は、使用料免除及び当館主催の件数

## (7) 文化財団総務部

### ア 文化事業に対する助成事業

文化関係団体等の行う文化事業に対して助成金を交付し、県内文化の振興発展に努めた。

### イ 高知県芸術祭開催事業（受託事業）

県民が芸術文化に接する機会を増やし、県民自ら参加する文化活動の促進に努め、文化の息づく郷土づくりを進めるため芸術祭を開催した。

### ウ こうちミュージアムネットワーク

県内の博物館施設及びその他資料の研究・保存・展示・公開を行う文化施設、並びに文化行政機関・教育機関において情報を共有し、共通問題の検討・協議を通して職員の資質向上を図り、県内の文化施設の活性化と県民の求める文化的サービスを提供した。

さらに土佐・龍馬であい博にあわせ、県と協力して幕末土佐の歴史や文化を紹介する事業を行い、県民の理解を深めるとともに、文化による地域の振興に貢献した。

### エ 文化による元気な地域づくり事業

各館が行っている夏休み企画や教育普及プログラムを、積極的に県内の子どもに伝えるなど、教育委員会や地域等と連携した取り組みを行った。

### オ カルチャーサポーター

各施設のボランティア組織であるカルチャーサポーターの22年度の認定証交付、合同研修を行った。

合同研修では、前年度に要望が多かった各施設の見学を行うバス研修を行った。